

# エイズ(後天性免疫不全症候群)とは何か?

<b>A</b>	cquired	<b>後天性</b>	人から人にうつる(病気)
<b>I</b>	mmune	<b>免疫</b>	病原体から身体を守る抵抗力
<b>D</b>	eficiency	<b>不全</b>	不完全になる
<b>S</b>	ndrome	<b>症候群</b>	色々な病気の集まり



**H I V**

**感染**

人体の免疫システムの司令塔となっている  
リンパ球(T4リンパ球)を破壊する

免疫力が低下し病原体から  
身体を守れなくなる

細菌やウイルスが病気を引き起こす



抵抗力の低い人の弱みにつけ込んで  
普通ならば、病気を起こしにくいような  
弱い菌やウイルスによって重い病気が引き起こされる

# エイズ検査はどうやって受けるか？

(思い当たる事があったら必ず検査を受けましょう)

## 保健所の検査方法

★正しく判定するために  
検査は感染の可能性のある  
行為の3ヶ月以後に受ける

**予 約**

電話で日時を確認



**受 付**

申し込み書に記入 **匿名可**

★プライバシーは守られる

受付



**検 査**

血液検査(約5ccを採血)



**陰 性**  
(-)

**結果通知**

約2週間後に来所  
(郵送、電話問い合わせ不可)

**陽 性**  
(+)

**カウンセリング**

エイズ予防に関する  
アドバイスを受ける



**カウンセリング**

陽性の意味や今後の日常生活  
についてアドバイスを受ける

**医療機関の紹介**

エイズの診療を行っている  
病院への紹介状をもらう

# エイズ、これでは感染しません

普通のキス



セキやくしゃみ



食器の共用  
(回しのみ、鍋料理など)



握手



お風呂、プール、  
公衆トイレ



ペット、蚊、ハエ



吊り革、手すり



お金のやりとり



美容院、理髪店



コインランドリー



公衆電話



感染者と一緒に働く



HIVは、感染力がとても弱いウイルスです

また感染経路が限られており、(性行為感染、母子感染、血液感染)

通常の日常生活での接触では感染しません

ましてや空気感染などの心配はありません

# HIVにどのように感染するのか？

HIVは、感染者の血液、精液、膣液、母乳に多く含まれているので、これらの体液から感染します

## 1 性行為による感染

- 性行為の際に、感染者の体液（精液、膣液、血液）が性器、直腸、口の粘膜にふれるとHIVが体内に入り感染する



## 2 母子感染(感染者の母から子へ)

### ①胎内感染

(胎児期に胎盤を通じて)



### ②産道感染

(出産の際に産道を通って母親の血液に触れて)



### ③母乳感染

(母乳にHIVが含まれているので)



## 3 血液による感染

- ①注射の回し打ち(注射器特に針を替えないで次から次へ注射を打つこと)  
使用者の中に感染者がいる場合に危険

### ②輸血

※日本国内の輸血は、1986年より全ての輸血血液を検査していますが感染の初期(数ヶ月以内)はチェックされないため、安全とは言えない場合があります

### ③血液製剤

※1985年より全て熱処理を行っているので安全



# HIV感染をどうやって防ぐか？

## 1 セックス

- ① 信頼できる特定のパートナーに限定する(検査で安全を確認)



- ② コンドームを必ずつける



- ③ セックスをしない



## 2 注射器の共用

- 注射の回し打ちをしない  
(麻薬や覚醒剤を使用しない)



## 3 血液の扱い

- ① ケガや出血の世話をするときは血液に直接触れないようにする



- ② カミソリ、タオルなど血液のつきやすいものは自分専用にする



- ③ 血液のついたものはすぐに洗剤で洗う  
(水で洗い流すだけでも有効)



# HIVに感染するとどうなるのか？

## 感染初期 (感染後2~4週間)

- 感染者の70~80%は無症状
- 感染者の20~30%に風邪に似た軽い症状が一時的に出る (発熱、寝汗、頭痛、咽頭痛、発疹、倦怠、筋肉痛、全身のリンパ節の腫れ)  
※風邪の場合もあるので感染の有無の目安にはならない

感染後2ヶ月以内(遅い人の場合でも3ヶ月)でHIVの抗体がつけられる  
(エイズ検査で感染の確認ができる)

※エイズ検査は抗体をチェックするので、感染の機会があってもすぐ受けても意味がない

## 無症候性キャリア=AC

- 無症状の潜伏期間が平均約10年間つづく(外見は健康な人と変わらない)
- この時期に感染に気付かずに他人に感染する恐れがある

## エイズ関連症候群=ARC (感染後8~10年)

感染者の約50%に慢性的な症状が出る  
(全身のリンパ節の腫れ、発熱、悪寒、寝汗、激しい頭痛、倦怠、  
口内炎、発疹、食欲不振、下痢、急激な体重減少)

## 後天性免疫不全症候群=AIDS

感染者の約50%は、感染後約10年で発病する

- 日和見感染症(カリニ肺炎、カンジダ症など)
  - 悪性腫瘍(カポジ肉腫、リンパ腫)
- 神経障害(記憶喪失、痴呆など) ● その他

# 死 亡

発病後2~3年で死亡することが多い  
(発病後5年以上の生存率は5%以下)

# エイズとともに生きるには

(陽性の場合でも積極的に生きよう)

## 発病を遅らせるために

- 治療を受ける  
(発病を遅らせる薬があります)



- 酒、タバコは控える



- 感染者の仲間と一緒に活動する



- カウンセリングを受ける



- 適度な運動をして十分に休養、睡眠をとる



- 栄養をバランスよくとる



## 他人に感染させないために

- ★ セックスの際は、必ずコンドームを使用する  
(感染予防と避妊のため)
- ★ 妊娠したい場合は医師に相談する
- ★ 血液を他人に触れさせないようにする
- ★ 献血をしてはいけません



## 身の回りに感染者がいたら

- ★ 今までと変わらない態度で接する
- ★ 差別はしない(職場、学校でも)
- ★ 心身ともに無理をさせないような環境づくりをする
- ★ 精神的な支えになってあげる



エイズは日常生活の中で感染することはありません